

平成 27 年度 上 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	長良児童センター	所管課	子ども未来部子ども支援課
所在地	岐阜市長良389番地2		
指定管理者名	社会福祉法人 日本児童育成園		
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日まで		
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募		
料金制	<input type="checkbox"/> 使用料 <input type="checkbox"/> 利用料金 <input checked="" type="checkbox"/> 料金徴収なし		
指定管理委託料(年額)	14,932,800円		
施設の設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにすることを目的とする。		
施設概要	◇構造:鉄筋コンクリート造2階建 ◇敷地面積:716.74㎡ ◇延床面積:515.50㎡ ◇施設内容:遊戯室、幼児室、集会室兼図書学習室、おもちゃ図書館、事務室兼静養室、駐車場		

●利用状況

		H27 上半期	H26 下半期	H26 上半期	H25 下半期	H25 上半期
利用者数 (単位:人)	来館者数	15,109	14,400	15,612	14,376	14,940
	移動児童館利用者数	1,392	1,675	1,569	1,071	1,432
各室稼働 状況	移動児童館実施回数(単位:回)	26	32	30	24	32
	開館日数(単位:日)	156	151	156	151	156

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①開館日・開館時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応 ⑤仕様書、事業計画書に基づく事業の実施	①、⑤計画どおり実施。 ②所長(正規職員)、正規職員3人(児童厚生員2人、体育指導員1人)、非常勤職員2人。 ③毎月のお便りは、小学校、幼稚園、公民館、地域の公園、健康センターなどに配布し、児童館ホームページにも掲載。職員ブログでクラブや行事の様子を写真つきで掲載。地域の情報紙「ふれあいタイムス」に毎月のお勧め行事を掲載。 ④苦情・クレームについては、マニュアルに従って対応。アンケートの要望に対する回答を館内に掲示。
自主事業・提案事業	—	—
施設管理	①施設設備の保守点検の実施(仕様書別記2参照) ②施設の衛生管理に対する配慮、快適に利用できる状態の保持 ③省エネルギー並びに環境への負荷の軽減に努めること ④施設・設備・備品等の維持管理	①、②、④適切に実施。 ③裏紙使用による事務用品の節約、ペットボトルや牛乳パックを利用した遊びの中でエコを再考している。
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①、②センター内の清掃や修理に関しても職員で対応している。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①、③適切に実施。毎月の安全点検を継続。情報共有を密にすることで、危機管理意識を高めている。 ②共有を密にすることで、危機管理意識を高めている。利用者と一緒に避難方法を確認。職員間でも各部屋の避難場所を確認し合っている。独自に不審者や事故の対応マニュアル等を作成している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	平成27年7月21日から平成27年8月30日に利用者アンケート(無記名)を実施。 回答者数107人
利用者アンケートの実施結果	○児童センターのホームページ・ブログについて(回答107人) 見たことがある78人、見たことがない19人、知ってはいるが見たことはない10人 ○ROBOちゃんクラブ(2、3歳児対象)、ポロちゃんクラブ(1歳)について(回答107人) 満足37人、ほぼ満足18人、やや不満0人、不満0人、参加したことない52人 ○ぴよちゃんタイム(0歳)について(回答97人) 満足35人、ほぼ満足28人、やや不満0人、不満0人、参加したことない34人 ○ロボッ子タイム(長良公園で開催)について(回答89人) 満足5人、ほぼ満足3人、やや不満0人、不満0人、参加したことない89人 ○スキップタイム(0歳)について(回答92人) 満足16人、ほぼ満足15人、やや不満2人、不満0人、参加したことない59人 ○ママのリフレッシュ講座(保護者対象)について(回答92人) 満足16人、ほぼ満足1人、やや不満0人、不満0人、参加したことない75人 ○なごみタイム(保護者対象)について(回答73人) 満足15人、ほぼ満足4人、やや不満0人、不満0人、参加したことない70人
利用者からの要望・苦情と対応・改善	要望⇒対応 ・おもちゃの消毒をこまめにしてほしい。 ・洋式トイレがあるといい。 ・駐車場を広くしてほしい。 ⇒アンケートについての意見対応は、改善できることは即対応し、幼児クラブで報告や掲示をして知らせた。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・利用者アンケートの実施 ・運営委員会の開催	S	A	A
		情報公開、広報の方策	・利用者アンケート結果の公表(館内掲示など) ・広範で適切な広報活動の実施(ホームページなど)	S	S	S
		区分評価			S	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	既存業務の改善、工夫又は新規事業等の実施	・業務改善や工夫又は新規事業(行事)等の実施	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者アンケートの実施 ・苦情・クレームへの着実な対応	A	A	A
		利用者に対するサービス向上の方策(窓口対応、プロモーション、設備の整備など)	・移動児童館の実施(仕様書別記3参照) ・利用者へのサービス向上に繋がる方策の実施	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用促進や利用者増に繋がる方策の実施	S	A	A
		サービスの質を確保するための体制、モニタリングなど	・事務分掌等に基づく事務分担の実施	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		区分評価			A	
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	指定管理経費の妥当性(収支計画の妥当性など)	・収支計画に沿った運営(予算書に沿った執行)	A	A	A
		管理経費縮減の具体的方策	・管理経費縮減に繋がる方策の実施(リサイクルやリユース、節水・節電など)	A	A	A
		区分評価			A	

安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識等	・児童厚生員を2人以上、その他の職員(施設が児童センターの場合は体育指導員)を1人以上配置(このうち最低1人は常勤職員とすること)	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の管理、監督体制	・事務分掌等に基づく管理・監督体制並びに事務分担の実施	A	A	A
		スタッフ(採用予定者も含む)の人材育成の方策	・職員の資質向上を図る研修の実施又は研修会への参加	A	A	A
		リスクへの対応方策(防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理(リスク)や非常時対応のマニュアルの整備 ・リスク防止策の実践	A	A	A
	区分評価					A
区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元の法人その他の団体の育成(一部業務の再委託先)、地元住民の活用(雇用又はボランティア等)	・地元の諸団体との連携、交流 ・地元の法人その他の団体の育成又は地元住民・高齢者・障がい者等の活用	A	S	S
		地元での社会活動等への参加	・地元の振興、活性化などに貢献できる社会活動等への参加(地元行事への参加)又は地元の団体・住民との協働事業等の実施	A	A	A
	区分評価					S

●指定管理者の取組みに対する自己評価(良否、課題と解決策など)

今期の取組みに対する評価	<p>《おでかけ児童館》では、夏の間は熱中症の心配もあり開催しなかったが、春・秋には多くの方が参加してくださいました。少しずつではあるが、《おでかけ児童館》の知名度も増加傾向にあり、旗を見つけて集まってきてもらえるようになってきたので、今後も積極的に活動を行っていきたい。</p> <p>毎週火曜日午後に行っている《なごみタイム》では、曜日の都合が悪いとの声もあったことから、火曜日が休館の時には水曜日に行うようにし、様々な方に利用していただけるようにした。また、昨年度より行事中に飲み物の提供を始めたことにより、よりゆっくりとリフレッシュしていただけるようになった。</p> <p>《ママのリフレッシュ講座》では、利用者のニーズに合わせた活動を心がけ、徐々に参加申し込みも増えてきた。活動によっては2回行うなどして、なるべく多くの方に参加していただけるようにした。今まで参加されていた方がお友達を連れてきてくださったりと、口コミで参加者が増えてきた。</p> <p>児童センターのホームページを新しくし、センターを利用している子どもたちをモデルとして載せたことで、より児童センターの雰囲気を伝わりやすくなった。上半期に行ったアンケートでは、7割以上の利用者が児童センターのホームページを見てくれた。</p>
前回までの意見を踏まえた取組み状況	<p>昨年度までと同様、地域に出向いていく《おでかけ児童館》や《ロボッ子タイム》、小学校や留守家庭児童会への移動児童館は継続して行った。地域の子ども会での夏祭りや地域のお祭りにスタッフとして参加し、地域の子育て支援団体との交流を深めた。</p> <p>また、9月には10月に行う児童センターのおまつりのスタッフ会も行った。おまつりには地域の中学校や高校の協力もあり、大学生ボランティア・クラブの小学生と共にスタッフとして事前のスタッフ会から参加をしてきている。年齢の近い中高生スタッフと一緒に活動することで、小学生もよりボランティア活動を身近に感じ、異年齢交流を行うことが出来た。</p>
今後の取組み	<p>保護者のためのリフレッシュ講座時の託児がなかなか確保できないという現状があるので、地域の方など託児に協力して下さる方を探し、保護者のニーズに応えていきたい。また、参加希望者が増え、全員に対応できない現状がある。開催回数を増やしたいが、他の行事との兼ね合いで空いている曜日がなく、開催が難しい。</p> <p>昨年度も行った地域の子育て支援関係者との「ネットワーク会議」は、今年度も行う予定である。</p> <p>児童センターの裏庭に地域の方の協力で出来上がったサザンクロスは、2か月に1回大会を行い子どもたちも楽しみにしてくれている。新聞やラジオでも取り上げられた。今後は、子ども達だけでなく地域の高齢者と一緒に活動するなど、世代間交流の場としていきたい。</p>

●所管課の意見

毎月の児童センターのおたよりを担当小学校への配布のほか、地域の情報紙「ふれあいタイムス」に行事の掲載依頼、またホームページを一新し、児童センターの明るい雰囲気や楽しい活動内容がより伝わりやすいものにするなど、広報活動を積極的に行っている。

遊び道具を載せたリアカーに旗を掲げ公園に出向いて行う移動児童館「おでかけ児童館」についても積極的に開催した。ボールやシャボン玉遊びなどの楽しい遊びで子どもたちが自然と集まり、児童センターを知らなかった人がそれを機に訪れるなど、PRにもつながっている。

中高生、大学生のボランティアクラブ「友遊クラブ」では、裏庭で野菜を育て、その野菜でピザを作るなど、食育、自然体験を行ったほか、地域のデイサービスセンターを訪問し、一緒にゲームを行ったり、ミュージックベルを披露するなどの活動を行い、地域との交流や青少年育成活動にも力を入れている。

また新規事業として、「サザンクロス」というオリジナルゲームのプレイグラウンドを考案者の協力を得て裏庭に作成した。考案者がボランティアで定期的に子どもたちへ指導を行い、ルールを覚えた子どもたちは普段からゲームを楽しんでいる。7月にはサザンクロスの大会が開催され、新聞やラジオの取材を受けた。

職員体制や経営状況については、問題なく運営が行われている。

●指定管理者評価委員会の意見

リアカーで公園に出向く移動児童館を行うなど、利用者の掘り起しに独自の取り組みが見られる。

中・高校生、大学生ボランティアを受け入れ、様々な活動を行っていることを評価したい。

児童センターで活動するボランティアが地域で活躍できるように育成、援助するとともに、地域住民がボランティアとして児童センターの活動に参加できる場を今後も積極的に提供していただきたい。

また、決算見込書の中で人件費をわかり易く表示するなど、職員体制や経営状況の明確化に努めている。

アンケート等の利用者要望を分析し、さらなる満足度向上、利用促進に努めていただきたい。

適正に管理運営が行われており、良好と認められる。